

# 地方都市視察報告書

福祉健康委員会

1 実施日 令和元年11月6日(水)

2 視察地 愛知県豊橋市

## 【市の概要】

(1) 面積 261.88km<sup>2</sup>

(2) 人口・世帯数

(令和元年10月1日現在)

○人口 377,274人

○世帯数 160,113世帯

(3) 豊橋市は、東は弓張山系を境に静岡県と接し、南は太平洋、西は三河湾に面しており、豊かな自然と温暖な気候に恵まれている。

豊川用水の豊かな水のもと、農業がたいへん盛んに行われている。露地野菜、果樹、園芸作物、稲作など多種多様な作物が栽培されているほか、日本一の飼育羽数を誇る養鶉を始め、養豚、養鶏などの畜産も盛んで、全国トップクラスの農業産出額を誇る産地となっている。

市の西部は、自動車の輸入台数・金額ともに全国第一位を誇る「三河港」を中心に臨海工業地帯が形成されている。

市には、「筆」「刺子」「帆前掛」など古くからの地場産業がある。

なかでも「豊橋筆」は、伝統工芸士により伝えられる国指定の伝統的工芸品で、現在もほとんどが伝統的な技法による手作りで、書道用を中心に工芸用、日本画用など高級筆のシェアでは全国の約70%という生産量を誇っている。

3 視察項目・内容

AIを活用した自立促進支援事業について

4 視察参加者

## 【委員】

井下田 栄	一委員長	池田 だいすけ	副委員長	時光 じゅん子	委員
田中 ゆきえ	委員	高月 まな	委員	近藤 なつ子	委員
中村 しんいち	委員	佐原 たけし	委員	松田 みき	委員

## 【随行】

議会事務局議事係 榎本直子 議会事務局調査管理係 岡田栄子



## 5 視察結果・所感

豊橋市で行われている「A Iを活用した自立促進支援事業」については、平成 29 年度の実証研究の継続事業で、平成 30 年 7 月から平成 31 年 3 月の 9 か月間、ケアマネジャーの業務の効率化や、介護サービスの質の向上の為、A Iを活用したケアプラン作成支援と実証研究を行っていた。

利用者の身体、生活、認知、精神、行動障害、社会生活への適応などの項目を入力すると、A Iが過去のデータに基づいた学習結果に基づき改善が見込まれる最適なケアプランを提示する。こうしてA Iが作成したケアプランを参考に、今までケアマネジャーが気付かなかったあらたな「気付き」が得られたという点は非常に参考になった。

また、A Iを活用して作成したケアプランが要介護認定者等の状態変化に与える効果の検証として、要介護認定等の基準時間の平均値の比較で、要支援 1、2、要介護 1、2 に対してはA Iを活用したケアプランが効果的だった点は期待できる検証だった。

しかし、利用したケアマネジャーのアンケートからは、「A Iから提案されたサービスが本人に合っていない」や「提案されたサービスを使う理由がわからない」といった結果もあり、事前の利活用方法の周知や活用に関するセミナー等が大事だと感じた。

新宿区においてもA Iの導入は必要だと思うが、今の段階では今後のA Iの開発やA Iの学習力を注視していきたい。

## 6 主な質疑項目

- (1) 事業者と利用者及び家族、各々が抱える課題解決のための、具体的な取組と進捗状況について
- (2) 国や県との連携や支援に関わる点について
- (3) 要介護認定におけるA I導入後の効果について
- (4) ケアマネジャーの負担軽減に役立っているかについて
- (5) ケアプラン作成におけるA Iの役割と限界について
- (6) A Iを活用することになった経緯について
- (7) A Iが作成したケアプランへの家庭環境と経済状況の反映について

## 7 その他

### 【共同視察者】

地域包括ケア推進課長 高橋昌弘